

特集 世界のオーケストラ&指揮者の現在~主要O&歌劇場シェフリスト付き 特別企画 上半期の来日演奏家ピックアップ

The Ongakugendai
Vol.48 No.1 January

音楽現代

1

クラシック音楽誌

特集 **世界のオーケストラ&指揮者の現在**
~主要オーケストラ&歌劇場シェフリスト付

特別企画 **上半期の来日演奏家ピックアップ** ~2018年の来日アーティスト一覧表付き





平井秀明（右）

この作品は、2009年に平和祈念の願いを込めて作曲されて以来、既に日本国内各地や、ザルツブルク（2012年）、ロサンゼルス（2015年）、ニューヨーク（2016年）他で、日米終戦70周年平和祈念、東日本大震災5周年復興祈念などの機会にも演奏されている。

今回の演奏は、今年始めに日本の国連加盟60周年記念として計画されていた、ニューヨーク国連本部本部総会議場、および米国カトリック総本山のセント・パトリック教会での『平和祈念の第九』、平井秀明作曲の『アヴェ・マリア』の演奏会が、各地で勃発したテロや、米国大統領選前後の混乱により中止を余儀無くされた事を知ったローマ法王庁が、10月27日にバチカン管轄のサン・ジョヴァンニ・バッティスタ・フィオレンティーニ教会にて、ローマ・トレ管弦楽団との『第九』、『アヴェ・マリア』他の演奏会、10月28日にはバチカン市国のサン・ピエトロ大聖堂での公式ミサにて『アヴェ・マリア』演奏の機会を与えたものである。

平井秀明（作曲・指揮）は、幼少よりピアノと作曲を祖父平井康三郎に、チェロを父平井丈一郎に師事。桐朋高校を経て、米国ロチェスター大学政治学科卒、イーストマン音楽院他で指揮法を学ぶ。2010年より、チェコ・ヴィルトゥオーゾ室内管弦楽団首席客演指揮者、2014年より、ニューヨーク祝祭管弦楽団音楽監督・指揮者、2017年より、ウィーン・クラング・アンサンブル首席客演指揮者を務めるほか、自作オペラ三部作（『かぐや姫』、『小町百年の恋』、『白狐』）は既にザルツブルクほか内外各地で50回以上上演されるなど、国際的な活躍が注目されている。

募集

・第10回浜松ピアノコンクール

2018年2月出場者募集開始

浜松市の市政80周年を記念して1991年にスタート、以降3年に1度開催されてきた「浜松国際ピアノコンクール」の節目となる記念すべき第10回目が、2018年11月8日から11月25日まで、浜松市のアクトシティ浜松で開催されることが発表された。

音楽コンクール」の第47回目が11月11日に予選、12日に本選が大阪市内の大阪ピアノ専門学校内ショパン・ホールで開催され、次の通り入賞・入選が決定した。

〈声楽部門〉

- ☑第1位＝川口維久子
- ☑第2位＝田中由衣、牧優雅
- ☑第3位＝該当者なし
- ☑入選＝伊勢田はるか、駒走友美

〈ピアノ部門〉

- ☑第1位＝該当者なし
- ☑第2位＝敦賀谷州泰
- ☑第3位＝該当者なし
- ☑入選＝森重ひろ美



川口維久子

なお授賞式・受賞者発表演奏会は、2018年1月19日（金）、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールで午後6時より授賞式、6時半より受賞者発表演奏会が行われる予定。

問合せはフランス音楽コンクール事務局（☎06-6692-3189）まで。

第1回ショパン国際ピリオドコンクール 2018年9月に開催決定!!

ワルシャワの国立ショパン研究所（通称NIFC）が、従来の「ショパン国際ピアノコンクール」に加えて、新たにピリオド（古）楽器のためのコンクールを開催すると発表した。

第1回「ショパン国際ピリオド楽器コンクール」は、19世紀前半頃に使われていたピアノ演奏によるビデオ審査を通過した40名のピアニスト（参加資格年齢18歳～35歳）がワルシャワに招かれ、2018年の9月2日から14日まで開催される。詳細は2018年3月に発表される。

平井秀明作曲「アヴェ・マリア」が サン・ピエトロ大聖堂で演奏される

2017年10月28日、バチカン市国ローマ法王庁の特別許可により、指揮者・作曲家の平井秀明の自作「アヴェ・マリア」が、サン・ピエトロ大聖堂での公式ミサにて平井自身の指揮で演奏（オルガン伴奏付き混声合唱版）され、同作品はローマ法王フランシス、バチカン市国へ献呈された。